

企業競争力・顧客満足力強化で、生き残りを目指す！

生産計画・工程管理力強化セミナー



新たな生産管理による“企業競争力”と“顧客満足力”の強化

開催趣旨

生産現場の人の質が低下する一方で、対応できないモノづくり企業の経営危機が増大しています。一方で、派遣社員や若手社員の増大によって生産現場力が低下し、その結果として品質不良やクレームが増大しています。このような状況下にて、新たな生産管理と工程管理の仕組みづくりなしに、モノづくり企業は生き残れなくなっています。

本セミナーでは、生産管理の仕組みを再構築し、さらに生産改革・改善に展開してゆく方法を、執筆本「生産管理ハンドブック」を使って分かりやすく解説するとともに、すぐに使える講師の指導実績ある多くのフォーマットもご提供いたします。



サブテキスト

開催日、場所

《オンライン受講》も可能です (Zoom を利用したリアル配信を行います)。

開催日：2022年 3月10日(木) 10:00~17:00

場所：[\(公財\)関西生産性本部](#) 会議室 [大阪市北区中之島 6-2-27 中之島センタービル 28階]

内容

I [生産と生産管理の仕組みの基本]

1. 現在求められているモノづくりとは

- (1)モノづくりの生産の流れとは
- (2)QCTで顧客満足が得られるモノづくりとは
- (3)生産現場の6Mで変化に対応して

生き残っていくには

2. 市場の変動に対応できる生産方式とは

- (1)生産方式はどのように変化しているのか

3. 企業の生き残りがかかる生産管理とは

- (1)生産管理がなぜ必要なのか
- (2)生産管理の基本サイクルとは何か
- (3)生産管理の個別業務の流れとは何か

II [生産計画の基本]

1. 市場ニーズに応えるための生産計画とは

- (1)生産計画とはどのようなものか
- (2)長期の大日程計画と中日程計画の違いは
- (3)短期の小日程計画で何ができるか

2. 顧客満足を実現する中日程計画の立て方とは

- (1)中日程計画のための個別計画には何があるか
- (2)手順計画で工程と作業を計画する
- (3)工数計画で生産能力を見える化する
- (4)負荷計画で能力と負荷のバランスをとる
- (5)日程計画で納期を確保する

3. 生産計画の精度を高めるための手法とは

- (1)現在の生産現場に求められる作業標準書とは
- (2)作業標準書をうまくつくるポイント
- (3)標準時間を生産計画に活用するポイント
- (4)標準時間を設定する方法
- (5)QC工程表をうまくつくるポイントとは

III [工程管理の基本]

1. 付加価値を創造する工程管理の進め方とは

- (1)工程管理とは何をすることか
- (2)工程管理を確実にする作業手配とは
- (3)進捗管理によって工程遅れを挽回する
- (4)余力管理によって手待ちを防止する
- (5)現品管理によって仕掛在庫を防止する
- (6)事後管理によって生産実績を把握し改善する

2. 工程管理をうまくやる秘策を知る

- (1)工程管理をうまくやる秘策には何があるのか
- (2)まず「本物の5S」で

見える・分かる・できる生産現場をつくる

- (3)「見える化」で問題を先取りし快善力を強化する
- (4)作業標準書の定着で変化に強い生産ラインをつくる
- (5)作業者の育成によって生産計画達成の基盤をつくる
- (6)監督者の日常基本行動によって工程管理を実践する
- (7)3礼によって工程管理サイクルを確実に廻す
- (8)監督者の生産現場パトロールで先取り管理をする
- (9)報・連・相で作業者の責任を明確にする

3. 問題解決力強化で生産目標を達成せよ

- (1)新たな生産現場問題の背景に何があるか
- (2)問題と問題点の違いを知って

問題の本質をとらえる眼を持つ

IV [現場改革の基本]

1. 競争力を強化する現場改革とは

- (1)生産現場の体質を改革するステップ
- (2)リードタイム短縮への取り組み

対象

【注】コンサルタント業の方の参加申込みは、ご遠慮下さい。

●製造部門の部課長、製造・生産技術・生産管理部門の担当者、改善担当者 など

講師

西沢技術士事務所 所長(技術士・中小企業診断士・経営士) 西沢 和夫 氏



三井造船を経て、米国系産業機械メーカーに入社後、新製品開発、マーケティング、品質保証、技術等を担当。その後、コンサルファームのチーフコンサルタントとして、本物の5S、見える化、生産改善、生産革新、品質保証、管理監督者の能力強化、問題解決力強化、営業力強化などの指導に多くの経験を持つ。その後、西沢技術士事務所を開設し今日に至る。

技術士(経営工学)、中小企業診断士、経営士、日本品質管理学会正会員。

《主な著書》『よくわかるこれからの生産現場改革』『工場長のための実践！生産現場改革』(同文館出版)、『5S導入ハンドブック』『リーダー力強化ハンドブック』『生産管理ハンドブック』(かんき出版)、『儲かる生産現場強化マニュアル』『現場で役立つQC工程表と作業標準書』(日刊工業新聞社刊)など多数。

参加費(1名につき)

会場定員: 15名

申込締切日

2022年2月28日(月)

関西ならびに他地区IE協会会員	27,500円	【注】参加費にはテキストとサブテキスト『生産管理ハンドブック』(かんき出版)代、消費税を含みます。なお、昼食代は含みません。
生産性本部賛助会員	31,900円	
一般	42,900円	

お申込方法

- 下記「**新型コロナウイルス感染拡大予防対策**」をご了解の上、「参加申込書」にてお申込み下さい。
- 「参加証」、「会場略図」(会場受講者のみ)、「事前質問票」、「請求書」は、参加者あてに開催日の約3週間前にご送付します。
なお、「**オンライン受講**」の方には、『テキスト』『サブテキスト』を開催日の1週間前から発送いたします(国内のみ)。
※参加費は「請求書」に記載の期日までに指定銀行へお振り込み願います。
- 2022年3月1日(火)以降のお取り消しの場合、原則として、参加費の全額を頂戴致します(代理者の受講可能)。
- 本セミナー当日の録音・録画、写真撮影はご遠慮下さい。

〈会場で受講の皆様へ〉【「新型コロナウイルス感染拡大予防対策」について】

関西生産性本部では、ご参加の皆様が安全・安心な環境下にて受講頂けるよう、以下の対策を実施しています。ご協力をお願い致します。

- ①「受付」時の検温(非接触型体温計)にご協力下さい。なお、発熱など体調不良の方は、受講をご遠慮頂く場合があります。
- ②過去2週間以内に発熱や感冒症状にて医療機関の受診や服薬をされた方、海外渡航歴のある方は、ご参加の自粛をお願いします。
- ③ご参加時はマスク着用をお願いします。(なお、事務局員もマスク着用にて対応させていただきます。)
- ④会場への入室の際は、手洗ひまたは手指のアルコール消毒の徹底をお願いします。
- ⑤会場の座席は1m以上間隔を空けています。また、会場内は、常時、換気を行っています。

お申込み・問合せ先

公益財団法人 関西生産性本部 「関西IE協会」(担当: 南、柏木)

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 Tel:06-6444-6464 Fax:06-6444-6450

【HPからお申込みもできます。】=> <https://www.kpcnet.or.jp/kiie/>

(公財)関西生産性本部 柏木 行

FAX (06)6444-6450

2021年度「生産計画・工程管理力強化セミナー」参加申込書(3/10開催)

(ふりがな) 組織名	()	会員区分 (ご加入の場合、○印を お付け下さい。)	関西・()IE協会 ()生産性本部
所在地	(〒 -)	E-mail:	
		TEL:() -	
		FAX:() -	
派遣者	事業所名、所属・役職名	氏 名(ふりがな)	()
参加者	事業所名、所属・役職名	氏 名(ふりがな)	()
			()
	【所在地】 ※「派遣者」と異なる場合のみ、ご記入下さい。 (〒 -)	E-mail:	
		TEL:() -	
		FAX:() -	
	受講形式 ※いずれかにレ印をご記入下さい。	<input type="checkbox"/> 会場で受講	<input type="checkbox"/> オンラインで受講(メールアドレス必須)

※ 個人情報の取扱いについて

(2021.03.04)

①参加申込によりご提供頂いた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<https://www.kpcnet.or.jp/>)をご参照願います。参加者・派遣者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込み頂きますようお願いいたします。②個人情報は、本事業実施に関わる資料作成、ならびに当本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。③本事業実施に関して必要な範囲で参加者名簿等の資料を作成し、当日講師と関係者等に限り配付させていただきます。但し、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。④個人情報の開示、訂正、削除については、本事業担当(TEL:06-6444-6464)または個人情報保護担当窓口(TEL:06-6444-6461)までお問合せ下さい。⑤本案内記載事項の無断転載をお断りします。